

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化予定箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道488号 <small>ながさわ</small> 長沢バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	島根県
起終点	自： <small>ますだしながさわちようながさわ</small> 島根県益田市長沢町長沢 至： <small>みのくんひきみちようすみかわ</small> 島根県美濃郡匹見町澄川	延長			3.2 km

事業概要
 一般国道488号は、島根県益田市から広島県廿日市市に至る延長約113kmの幹線道路であり、美濃郡匹見町地区の生活道路、及び西中国山地国定公園の観光ルートとして利用されている。長沢バイパスは、平成16年度に合併が予定されている3市町（益田市・匹見町・美都町）をその他の国道・県道と共に繋ぐ環状道路の一部を構成する延長3.2kmの2車線道路である。

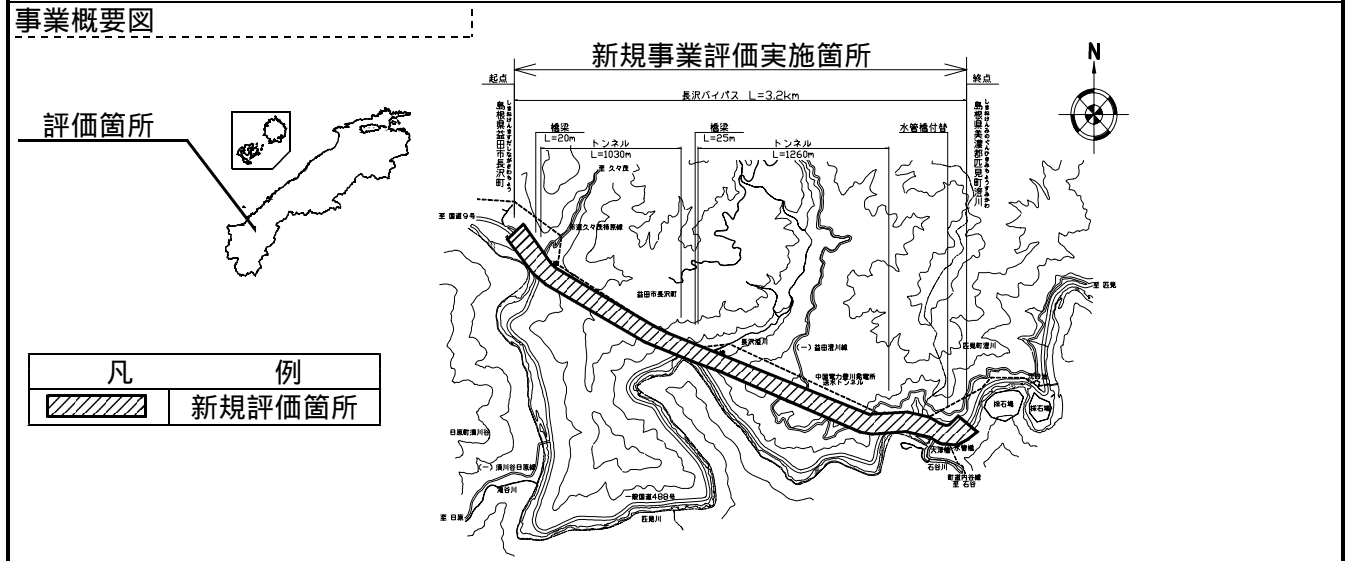
事業の目的、必要性
 長沢バイパスは、現道である国道488号の防災点検要対策箇所（19カ所）の解消とともに、平成16年度に予定されている、益田市と匹見町の合併支援助道路として、圏域中心都市である現益田市と周辺市町の連携と交流及び観光促進に大きく寄与するものである。

全体事業費	約64億円	計画交通量	1,000台/日
費用対効果分析結果	B/C 1.3	総費用	55億円
		（事業費：52億円）	（総便益：72億円）
		（維持管理費：3億円）	（走行時間短縮便益：67億円）
			（走行費用減少便益：5億円）
			（交通事故減少便益：0億円）
			基準年：平成15年

感度分析の結果
 交通量変動：B/C=1.4（交通量+10%） B/C=1.1（交通量-10%）
 事業費変動：B/C=1.1（事業費+10%） B/C=1.4（事業費-10%）

事業の効果等
 ・ 国土地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市（益田市）へのアクセス向上が見込まれる）
 ・ 個性ある地域の形成（主要な観光地である西中国山地国定公園へのアクセス向上が期待される）
 ・ 安全で安心できる暮らしの確保（二次医療施設（益田赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる）
 ・ 災害への備え（現道等の防災点検要対策箇所19カ所を解消する）
 他10項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見
 長沢バイパスは、地域交流の促進、防災点検要対策箇所の解消、豪雨時の冠水区間の解消に重要な役割を果たすことが期待されており、益田市をはじめとする関係1市2町の首長より早期整備の要望（平成15年7月15日）を受けている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。